

令和5年度森林環境教育推進事業
南さつま市立 万世小学校

1 学習のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工教室 ②食育学習 ③しいたけ駒打ち

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和6年1月22日(月)	9:40~12:20	多目的室	6年生	26	1	27
②	令和6年1月22日(月)	12:40~12:50	会議室	全学年	170	18	188
③	令和5年10月16日(月)	8:50~10:35	校庭	4年生	31	3	34
合 計 (延べ人数)					227	22	249

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	県産材を利用した、「椅子」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	のこぎり、金槌の取扱について注意喚起	振興局 4 市職員 3
②	オンラインで校内の会議室から各教室へ給食の食材として使われている、森の恵みの「原木しいたけ」や「たけのこ」がどのようにして生産され食卓に並ぶか配信。		振興局 1
③	森の恵みである原木しいたけについて学習し、駒打ちの体験を行う。	ドリルの取扱について注意喚起	振興局 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	材料(スギ材), のこぎり, さしがね, 金槌, 紙やすり, 皿(釘入れ), 鉛筆, コードリール, 設計図面, ブルーシート, インパクトドライバ	作業台(椅子)
②	プレゼンデータ	パソコン
③	原木, 種駒, ドリル, ドリルきり, 金槌, コードリール, 種駒容器, 杭, チョーク, 資料	

7 ふり返り(担当者の意見, 学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・日頃経験できない活動を行うことができた。
- ・「きのこ」は野菜と思っていた児童が多く菌類の仲間であることに気付くことができた。
- ・食への興味, 生産(育てる)することへの興味が深まった。

7 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①木工教室】



【①木工教室】



【①木工教室】



【②食育学習】



【②食育学習】



【③椎茸駒打ち】



【③椎茸駒打ち】



【③椎茸駒打ち】